

無痛分娩説明書・同意書

I. 無痛分娩

無痛分娩とは麻酔を使って陣痛の痛みを緩和し分娩する方法です。代表的な麻酔は硬膜外麻酔です。

II. 当院の無痛分娩

・当院では、以下の方は安全性の理由から無痛分娩をお受けすることができません。

- ①40歳以上の初産の方(経産婦はお受け可能です)
- ②高度肥満のある方(BMI が30以上)
- ③身長150cm以下の初産の方(経産婦はお受け可能です)
- ④血液疾患(出血傾向)のある方
- ⑤側湾症や脊髄神経疾患のある方
- ⑥局所麻酔薬にアレルギーがある方
- ⑦診察にて医師が当院での無痛分娩が困難と判断した方
(ex. 妊娠中の体重増加が著しくある方など)

・当院で無痛分娩を希望される方は必ず、無痛分娩の説明を受けていただく必要があります。

※里帰りで無痛分娩を希望される方については、無痛分娩にはメリット、デメリットもありますので、必ず16週までに当院のホームページ上から無痛分娩の説明(PDF ファイル)をご確認下さい。無痛分娩を希望される場合は、16週以降に無痛分娩予約のお電話をお願い致します。(無痛分娩の予約には安全面の観点から、枠に限りがございますのでご了承ください。)ただし、当院での分娩希望を検討された時期が16週以降で無痛分娩を希望された場合は、無痛分娩の入院枠の空きがある場合もございますので当院へご連絡下さい。

・当院の無痛分娩は、計画分娩が原則です。

※ただし、計画分娩前に陣痛発生した場合でも24時間体制で対応します。

(状況によっては、希に対応できない場合もあります。)

例) 陣痛、破水での入院の時点で分娩がかなり進行している場合

・料金

無痛分娩費用としては8万円~です。(※麻酔科・処置料・管理料も含まれます)

Ⅲ. 無痛分娩受付からご入院までの流れ

| | | |
|-------------------|----|--|
| 初診時 | 案内 | 無痛分娩の案内の紙をお渡します。 |
| 初診～16週まで | 説明 | 無痛分娩の説明を行います。(必ず婦人科枠で予約をして下さい。) ※里帰りで無痛分娩を希望される方については、必ず16週までに当院のホームページ上から無痛分娩の説明(PDF ファイル)をご確認下さい。 |
| 16週 (2回目の妊婦健診) | 受付 | 無痛分娩を希望していることを申し出てください。 無痛分娩が可能と判断した場合は、入院日を決定します。 ※無痛分娩の予約には安全面の観点から、数に限りがございますのでご了承ください。 ※里帰りで無痛分娩を希望される方については、16週以降に無痛分娩予約のお電話をお願い致します。 (無痛分娩の予約には安全面の観点から、枠に限りがございますのでご了承ください。) ただし、当院での分娩希望を検討された時期が16週以降で無痛分娩を希望された場合は、無痛分娩の入院枠の空きがある場合もございますので当院へご連絡下さい。 |
| 38-40週 | 入院 | 入院時、計画分娩の同意書を提出していただきます。 |

(入院後スケジュール)

| | |
|----------|---------------------------------|
| 1日目～2日目 | |
| 12時～13時頃 | 1. 入院 |
| | 2. ノンストレステスト |
| | 3. 必要時、器械的子宮頸管拡張や腔剤にて頸管熟化 |
| | 4. 分娩室もしくは手術室で硬膜外麻酔を導入 |
| | 5. 陣痛誘発開始 |
| | 6. 痛みに応じて硬膜外麻酔開始 |
| | 7. 分娩終了後硬膜外麻酔終了 (硬膜外カテーテル抜去) |

※注意点1

- ・ 陣痛誘発剤の使用は最長3日間とし、一旦退院することもあります。

IV. 無痛分娩のメリットとデメリット

| メリット | デメリット |
|-----------------------------------|---|
| 分娩時の痛みが軽減される | 分娩第2期が停止（遷延）することがあります。 →吸引・鉗子分娩となる率が高くなる(特に初産の方) →その結果、 新生児合併症 (頭血腫、帽状腱膜下血腫、頭蓋内出血、顔面周囲の損傷)、 母体合併症 (3度、4度裂傷)のリスクが高くなります。 ※ 高齢初産(40歳以上) に限ると、約半数は緊急帝王切開になる可能性があります。 |
| 痛みのストレスから解放される | |
| リラックスして分娩に臨むことができる | |
| 分娩時のストレスを軽減することで体力が温存でき産後の回復も早くなる | 分娩時出血量が増える可能性があります。 |
| 緊急帝王切開となった時、速やかに手術に移行できる | |

(副作用・合併症)

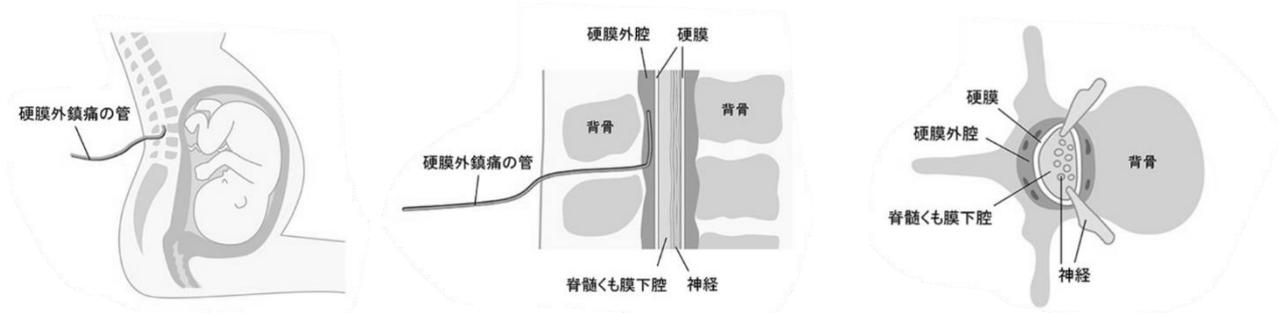
| 比較的多い副作用・合併症 | 稀な副作用・合併症 |
|--------------|---------------------------|
| 血圧低下 | 頭痛 |
| 発熱 | アナフィラキシーショック |
| 尿が出にくくなる | カテーテル挿入による硬膜外血種・感染・神経損傷 |
| 下肢の痺れ、脱力感 | 局所麻酔薬の血管内誤注入による痙攣 |
| 嘔吐 | 局所麻酔薬のくも膜下誤注入による広範囲な麻酔の侵襲 |
| かゆみ | |

※上記のような副作用・合併症が生じた場合、当院スタッフが迅速に対応致します。

V. 無痛分娩の方法

・硬膜外麻酔

脊椎の中の硬膜外腔というスペースに硬膜外カテーテルという細い管を挿入し、そこから麻酔薬を注入する方法です。麻酔の効果を確認後、麻酔薬を調整しながらお産を進めます。



医療法人 回生会 立花レディースクリニック
(医師)

記載姓 記載名 印 年 月 日

<同意書>

私は、無痛分娩についての説明を受けるとともに、質問する機会を得ました。
この説明により無痛分娩メリット・デメリットについて理解できましたので、無痛分娩の実施を同意します。尚、無痛分娩中の緊急処置、治療を行う必要性が生じた場合は、適宜施行されることについても同意します。

年 月 日

患者様氏名 印 住所

(注)印鑑を所持していない場合には署名のみも可とする。